コロンビア内政・外交（２０１４年３月）

I 概要

【内政】

４～２６日　大統領選挙立候補者の届け出

９日　国会議員選挙及びアンデス議会選挙

１９日　サントス大統領によるペトロ・ボゴタ市長の罷免決定

２０日　ブエナベントゥーラ市への軍隊派遣

２２日　メデジン市内における爆破テロ

【外交】

３～５日　マクシマ・オランダ王妃の当国訪問

４～５日　オルギン外相のジュネーブ訪問

７日　オルギン外相のクロアチア訪問

１０日　オルギン外相のチェコ訪問

１１日　サントス大統領のチリ訪問

１８日　カルデナス駐日大使の駐ブラジル大使への任命

２４日　オルギン外相のパラグアイ訪問

２５～２６日　オルギン外相のＵＮＡＳＵＲ外相会合出席（於：ベネズエラ）

II 本文

【内政】

１　大統領選挙立候補者の届け出

　４～２６日，各党の大統領選挙立候補者が立候補の届け出をし，大統領選挙の立候補者及び支持政党（括弧内）は，以下のとおりとなった。

　・フアン・マヌエル・サントス大統領（国民統一党，自由党，急進改革党）

　・オスカル・イバン・スルアガ元財務・公債大臣（民主中道運動党）

　・クララ・エウヘニア・ロペス元ボゴタ市長代理（ＰＤＡ，愛国連合）

　・マルタ・ルシア・ラミレス元国防大臣（保守党）（２月に立候補届け出済み）

　・エンリケ・ペニャロサ元ボゴタ市長（緑の同盟党）

２　国会議員選挙

　９日，当国において国会議員選挙が実施された。今国会選挙では，連立与党は上下両院の２６８議席中，１３９議席と最大勢力であることを維持したものの，ウリベ前大統領の新党である民主中道運動党が上院において１９議席を獲得し，第２党にまで躍進した。一方，連立与党，特に国民統一党は上院において２８議席から２１議席へ，下院において４８議席から３７議席へと勢力を減らした。

３　アンデス議会選挙

　９日，国会選挙と同時に，アンデス議会選挙が実施された。アンデス議会選挙では，有効投票中，過半数を超える白紙票が出たことから，憲法の規定により，再選挙が必要となった。他方，１０日，イラゴリ内務大臣はラジオ番組のインタビューにおいて，憲法裁判所がアンデス議会直接選挙の廃止法案審査を迅速に進め，再選挙により予算を浪費しないようにすべきである旨述べた。

４　サントス大統領によるペトロ・ボゴタ市長の罷免決定

　１９日，サントス大統領はペトロ・ボゴタ市長の罷免を決定し，当面の市長代理としてラファエル・パルド労働大臣を任命した。２０日，行政監察庁による同市長罷免の決定に基づく政令第５７０号が大統領によって署名され，これをもって事実上の公職解任となった。

　なお，クンディナマルカ県高等裁判所に提出されていたペトロ市長に関する約８００件の人身保護請求は，順次却下されていたところ，１８日，国家審議会により最後の２２件が却下された結果，政府の最終判断を待つのみとなっていた。

５　ブエナベントゥーラ市への軍隊派遣

　２０日，政府はブエナベントゥーラ市に４００名の兵士，１８０名の海兵隊を派遣し，駐留させた。ブエナベントゥーラでは，麻薬組織の抗争により，今年に入ってから６０件以上の殺人事件が発生するなど，治安状況が悪化していたための措置。

６　メデジン市内における爆破テロ

　２２日未明，メデジン市内において，麻薬組織による爆破テロが発生し，通行人４名が死亡，１６名が負傷した。

【外交】

１　マクシマ・オランダ王妃の当国訪問

　３～５日，マクシマ・オランダ王妃が当国を訪問した。同王妃は開発のための金融包摂に関する国連事務総長特別顧問を務めている。同王妃は４日，カルデナス財務・公債大臣等と会談したほか，全国金融教育委員会の第一回会合に参加した。５日，同王妃は，コロンビア銀行連盟との会合に出席し，貧困家庭や中小企業への金融サービスの提供につき協議したほか，マリア・クレメンシア・サントス大統領夫人とともに，女性及び家族の発展に焦点を当てたプロジェクトを視察した。

２　オルギン外相のジュネーブ訪問

　４～５日，オルギン外相はジュネーブを訪問し，グテーレス国連難民高等弁務官，ライダー国際労働機関（ＩＬＯ）事務局長（人権理事会に出席するためジュネーブを訪問中のガルソン副大統領に同席），ガリ世界知的所有権機関事務局長及びピレイ国連人権高等弁務官と会談した。

３　オルギン外相のクロアチア訪問

　７日，オルギン外相は，クロアチアを訪問し，プシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相と会談したほか，クロアチア議会において演説した。

４　オルギン外相のチェコ訪問

　１０日，オルギン外相は，チェコを訪問し，ザオラレク・チェコ外相と会談し，土地返還問題や鉱業分野でのチェコ政府による協力案件の実施の加速化につき要請した。なお，ザオラレク・チェコ外相は，２０１３年１２月にボゴタに大使館を開設したことの意義を述べた。

５　サントス大統領のチリ訪問

　１１日，サントス大統領及びオルギン外相は，バチェレ・チリ新大統領の大統領就任式出席のためチリを訪問した。

６　カルデナス駐日大使の駐ブラジル大使への任命

　１８日，オルギン外相は，ガルソン副大統領が駐ブラジル大使就任を辞退したため，カルデナス駐日大使を，駐ブラジル大使に任命することを決定した。

７　オルギン外相のパラグアイ訪問

　２４日，オルギン外相はパラグアイを訪問し，ロイサガ・パラグアイ外相と会談し，外国において自国民の領事案件を相互支援することに関する覚書に署名した。オルギン外相は，カルテス大統領とも会談し，農業及び河川に関連する両国間の協力につき協議した。

８　オルギン外相のＵＮＡＳＵＲ外相会合出席

　２５～２６日，オルギン外相は、ベネズエラで開催されたベネズエラにおける広範かつ建設的な政治対話を支援するためのＵＮＡＳＵＲ各国外相から構成される委員会の第一回会合に出席した。ＵＮＡＳＵＲの各国外相は，マドゥーロ・ベネズエラ大統領及びアレアサ・ベネズエラ副大統領等と会談した。

　２７日，サントス大統領は演説において，ベネズエラ政府は直面している危機を乗り越えるために対話のテーブルに座ることを決意し，ＵＮＡＳＵＲ３カ国外相による調停を実施することを受け入れた旨述べた。（了）